

学校だより

銀杏

稲城第四中学校



学校HPにはカラー版が掲載されています

【今月号の内容】

- 校長巻頭言
- 教科紹介（技術・家庭科）
- 1・2年スピーキングテスト
- 行事予定 ○学校保健委員会
- 表彰
- 1年生野沢宿泊体験学習

令和5年度を振り返って

校長 橋 太造

1年の締めくくりの時期を迎えました。昨年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行して、今年度は、ほぼすべての教育活動をコロナ前と同じ形に戻して取り組むことができました。

本校の二大行事である体育大会と合唱コンクールは、今年から保護者の方にも参観していただくことができ、生徒たちの頑張る姿を多くの方に見ていただくことができました。双方とも学年対抗の部分があり、各学級が学年優勝を目指して競い合いました。結果として優勝を獲得できた学級と獲得できなかった学級がありましたが、勝ち負けに関わらず、全力で頑張り、努力した過程が大切で、そこに個々の生徒の大きな成長がみられました。

1年生の野沢宿泊体験学習、2年生の鎌倉校外学習、3年生の修学旅行など、いずれの校外行事についても、大きな事故やトラブルもなく、当初の目的を達成することができました。校外行事では、事前・事後学習を含め、行動班や宿泊班など、グループで行動することが多くなります。行動中は小さな問題にいくつも遭遇しますが、その都度話し合って協力しながら乗り越えていかなければなりません。自分の考えと友達の考えが異なることも多かったと思いますが、折り合いをつけながら行動することを学ぶことができたと思います。さらに、職場体験やユニセフ・クリーン大作戦など、生徒の活動を地域に広げることもでき、生徒たちの大きな成長を実感する1年となりました。



もうすぐ春がやってきます。冬から春を迎えるこの時期に桜の花の蕾が毎日少しずつ膨らんでいきます。冬の寒さに耐えながら成長していく蕾の様子を見ていると、生徒たちの姿に重なり「つらいことがあっても桜のように力を蓄えて、最後にはきっと花を咲かせるだろう」と思います。

卒業生にとって稲城四中で過ごした3年間は、どのような日々だったのでしょうか。新型コロナウイルス感染症に影響を受けた中学校生活でしたが、その中でもできることを一生懸命に頑張ってきたのではないかと思います。桜のように、寒さの中でも力を蓄えてきたので、新しい世界でもきっと花を咲かせてくれることと思います。特に今年の3年生は、落ち着いていて、素直で優しい心をもった生徒たちで、下級生の手本となる、真の学校のリーダーとして、立派にその役割を果たしてくれました。私たち教職員は、そうした3年生をととても誇らしい気持ちで送り出すことができます。1年生、2年生もそれぞれ進級する自覚と決意をもって、この学年を締めくくり、3年生から稲城四中のよき伝統を受け継いで、より一層学校生活を充実させていってけると期待しています。

多くの皆様に支えられ、安全・安心で充実した学校生活を送ることができた1年であったことをとても嬉しく思います。これもひとえに保護者、地域の皆さんの本校に寄せる深いご理解、ご協力のおかげであると思っております。心より感謝申し上げます。4月からも、生徒たちが、自らの学校や地域に誇りをもてるよう、教職員一同、教育活動に専心してまいります。来年度も、稲城第四中学校をどうぞよろしく願いいたします。

今月の教科紹介（技術・家庭科）

技術・家庭科 深澤 薫 生田目典子

【技術分野】

1年生は、身の回りの問題を発見し、設計・構想を工夫し、問題を解決する「オリジナルラック」の製作を行いました。設計・構想ではタブレットを活用して3DCADで設計を行いました。そして、設計をもとに木取りや加工を行い、2月に完成することができました。一人一人の工夫が生かされた製作品をぜひ、持ち帰った後に自宅で使用してもらいたいと思います。

2年生は、2学期にダイコンの袋栽培とラジオ製作を並行して行いました。ダイコンは1kgを超える大きなものを収穫できた人もいました。栽培記録の優秀者、収穫量の優秀者は後日表彰する予定です。また、栽培記録の優秀者の作品は木工室前廊下に掲示しています。3学期には「Life is Tech!」を通してHTMLとCSSを用いてホームページの編集を体験する学習を行いました。50分の授業ですが、黙々とレッスンに取り組む姿が印象的でした。

3年生は、計測制御の実践として実際にロボットをビジュアル言語でプログラミングする課題に取り組みました。中には自ら探求し、変数を使用したプログラミングにも挑戦する人もいました。

【家庭分野】

1年生は「家族・家庭」「食生活」について学びました。栄養素や食品群は、小学校からの学習内容です。すでに理解をしている生徒が多く、さらに理解が深まりました。また、手縫いの基礎を習得するために、刺し子やペットボトルケースの製作を通して技能の向上を進めました。

2年生は「住生活」「衣生活」について学びました。住まいの計画では、課題を設定してその解決を図りながら、住まいの間取りを考えるという学習を行いました。また、衣服の製作では、ハーフパンツ製作に取り組んでいます。自分の衣服を作るという貴重な経験を、体得してほしいと思います。

3年生は「幼児の生活」「消費生活と環境」について学びました。幼児のおもちゃ作りでは絵本の製作を行い、楽しみながらものづくりに取り組みました。

1・2年スピーキングテスト

英語科 上西 礼乃 伊藤 光

【1年生】

令和元年度から試験的に運用され、令和4年度から東京都立高校の入学試験に正式に導入されました英語スピーキングテストESAT-J。今年度から、中学1・2年生を対象としたESAT-Jも実施されることになりました。これまで、日々の授業で教科書を音読練習し、長期休業中には保護者の方々に音読を聞いていただき、サンプル問題を活用するなどして、まずは「英語で言葉を発する」を目標に、対策をしてきました。3学期からは東京都教育委員会が提供している「TOKYO ENGLISH CHANNEL」の「話すこと」トレーニングを活用し、4つの出題形式に慣れるとともに、自分が難なく使える表現で問題に答えるという経験を積み重ね、自信をもって英語で発声する訓練をしています。野沢温泉村宿泊体験学習では、グレンデで出会った外国の方々と会話し、英語でコミュニケーションをとることの楽しさを実感した生徒も多くいました。3月6日のテストが、2年後の本番に向けて、また、今後の人生において良い経験となるよう、毎回の授業の帯活動で練習していきます。

【2年生】

今年度中学2年生を対象としたESAT-J YEAR 2が令和6年3月6日（水）に行われる予定です。来年度はいよいよ11月下旬にスピーキングテスト本番を受験することとなります。

スピーキング活動については、1年生の頃から四技能の1つとして、毎回の授業で実践しています。また、本校2年生は、昨年の夏から本格的にESAT-Jに関連する教材などを使ってさらに練習を重ねています。ESAT-Jは大きく分けて4つのPartで構成されています。その中でも、状況を描写する問題や自分の考えを述べる問題では、具体的に話すことが求められています。英語に関わらず、他の教科でも物事について考える力を伸ばしてほしいと思います。

また、ESAT-Jのみならず、他の英語の試験でもSpeakingの技能を図る試験は多く実施されています。英語で自分の考えを伝えることの大切さを知り、さらには、将来国際社会で活躍する一歩として日々の学習に取り組んでほしいと思います。

3月の主な行事予定

| 日 | 曜 | 主な行事 | 11月 | 月 | 薬物乱用防止授業(3) |
|---|---|--------------------------------|-----|---|-----------------|
| 1 | 金 | 都立一般発表 | 12 | 火 | 保護者会 |
| 4 | 月 | 避難訓練 専門委員会 | 13 | 水 | 認知症サポーター養成講座(3) |
| 5 | 火 | 学校長朝礼 中央委員会 | 14 | 木 | 都立後期・二次発表 |
| 6 | 水 | 職員会議 ESAT-J(1, 2) 都立後期・二次出願 | 15 | 金 | 卒業式予行 |
| 7 | 木 | 起震車体験 | 19 | 火 | 卒業式 |
| 8 | 金 | 四中命の日 | 21 | 木 | 命の講話 |
| 9 | 土 | 都立後期・二次学力検査 | 22 | 金 | 全校美化 |
| | | | 25 | 月 | 修了式 |

学校保健委員会

養護教諭 栗林 舞央



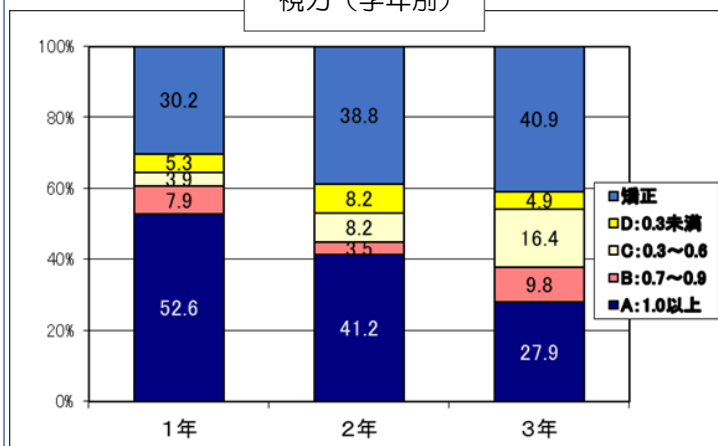
2月14日(水)に令和5年度学校保健委員会を実施しました。

校医さん2名、学校薬剤師さん1名、PTA2名にご参加いただき、養護教諭より、実践報告を行いました。健康診断の結果について、身体計測の結果を全国平均、稲城市内平均と比較したものをグラフで表示して、昨年度との変化について触れながら説明しました。視力については裸眼視力と矯正視力で分けて全国の割合と比較したデータを提示しました。本校は、全国と比較して視力が1.0以上の生徒の割合が2倍近くを占めており、この結果を維持できるようにしていきたいです。保健室来室状況について、昨年度と比較し、月別、学年別の来室状況を説明しました。今年度の傾向として、目や目の周辺についてのけがが多かったため今後の対策について話をしました。

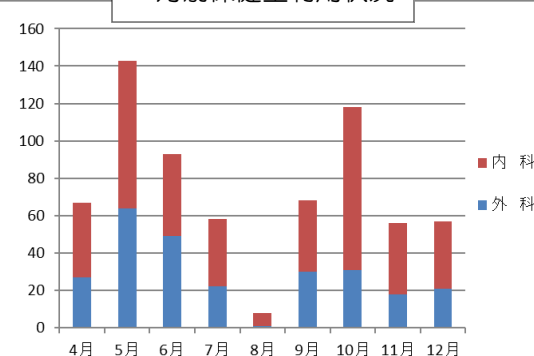
保健室からの説明の他に、校医の先生から保健給食委員の生徒が考えた質問について詳しく説明をして頂きました。腹痛が起こる理由や、歯を磨くときのベストなタイミングなど、普段子供たちが疑問に感じていることを専門家からより詳しく説明して頂き、養護教諭自身も初めて知ることが多くありました。

PTAや教員からもいくつか質問があり、ご参加いただいた先生方にご回答いただき、より有意義な学校保健委員会を実施することができました。

視力(学年別)



月別保健室利用状況



今月の表彰



◇稲城四中が、「第24回環境美化教育優良校等表彰優良校 協会会長賞」を受賞しました。

◇稲城市教育委員会児童・生徒表彰式に本校の生徒が参加し、表彰されました。

「第11回全日本ジュニアチャンピオンシップ(少年少女全国選抜空手道選手権大会)」出場で表彰されました。

2年A組 三上 鷹雅 さん 「中学2・3年男子重量」・1年A組 三上 擧真 さん「中学1年男子重量」



～ あつまれ稲城っ子！野沢温泉塾 ～

「楽しかった野沢温泉村宿泊体験学習」

1月30日（火）～2月2日（金）の3泊4日、長野県の野沢温泉村へ行ってきました。各クラス男女1名ずつの実行委員と共に、約4ヵ月かけて準備してきました。とても楽しみにしていたので、宿泊学習の最終日は、「帰りたくない〜。」「もっとスキー滑りたい！」「もう1泊したい！」と嬉しい声がたくさん聞こえました。



1日目は、稲城市も野沢温泉村も晴天でした。例年より雪が少なく、暖かい日が続いていることを事前に聞いていたので、雪不足も心配しましたが、白銀のグレンデを見て生徒は大喜びでした。宿のお父さん、お母さんも、大変温かく迎え入れてくださり、緊張していた生徒の顔もホッとされた表情にかわっていました。午後のスノーシュー体験は、全員が楽しく参加し雪に慣れることができました。

2日目、3日目のスキー講習は、インストラクターの指示のもと、全員が最後まで頑張ることができました。どの班もリフトやゴンドラに乗り、グレンデの上から笑顔で滑り降りてくる姿に感動しました。「転んだけど楽しかった」「ターンができるようになった」「転んだ友達をたくさん助けた」「お互いにコツを教えあった」など、スキーの技術はもちろん、仲間との絆も深まり、最高の2日間になりました。宿でも、道祖神作りやお団子作り、かまくら作りや星の観察など、美味しいご飯だけでも感動の毎日でしたが、交流会も企画して頂き、野沢温泉村を満喫できた3泊4日でした。

野沢温泉村の方々をはじめ、多くの方に支えて頂き、無事に宿泊体験学習を終えることができました。また、保護者の皆様にもご協力頂き、ありがとうございました。行事を終えて、心も体も大きく成長できた1年生。今後の活躍が楽しみです。

